

研究機関：広島大学

研究課題名	「当科における薬物療法不応性難治性自己免疫疾患に対する血漿交換療法の検討」
研究責任者名	広島大学病院リウマチ・膠原病科 教授 杉山 英二
研究期間	平成 29 年 4 月(倫理委員会承認後)～平成 31 年 4 月
対象者	選択基準：平成 21 年 7 月～平成 28 年 4 月の間に通常保険診療における診断、治療目的のため広島大学病院リウマチ膠原病科に入院した自己免疫疾患患者さんのうち、薬物療法不応性の難治性症例に対し PE を施行した症例。除外基準：研究責任者または担当医師が不相当と判断した場合。
意義・目的	現在、リウマチ・膠原病疾患の治療法としては、薬物療法が主流であり、様々な薬剤の有効性が明らかになっています。一方、薬物療法の効果が乏しい難治性症例や、アレルギー・副作用・臓器障害などで薬剤が使用困難な場合には、非薬物療法が必要になります。血漿交換療法(PE)は、病因・病態に関連した物質・因子を体内から除去することで病勢の抑制が期待されますが、適応や薬物療法との併用方法(順序・組み合わせなどの選択)については確立していないため、議論の余地が残ります。本研究では、難治性自己免疫疾患に対する薬物療法と血漿交換療法の併用療法について明らかにするために、当科で経験した患者さんの臨床的特徴と問題点について検討します。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、BMI、診断名、合併症、既往歴、治療内容、臨床症状、血液検査値(白血球数、白血球分画、ヘモグロビン、血小板数、総蛋白、アルブミン、Cre、BUN、AST、ALT、ALP、LDH、IgG、IgM、IgA、CRP、血沈など)、画像検査(X線、CT、MRI など)、治療法、転帰です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません。
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5539 広島大学病院リウマチ・膠原病科 職名 教授 杉山 英二 広島大学病院リウマチ・膠原病科 職名 助教 吉田 雄介